森信茂樹が問う

不定期連載

(原則年6回)

夏沙 夏 沙 次心

カーボンニュートラル 実現に向けて 地域循環共生圏」の 理念を

東京財団政策研究所研究主幹中央大学法科大学院特任教授

森信茂樹



昨年秋、政府は2050年カーボンニュートラルの 実現を掲げた。今後はわが 関の産業全体が脱炭素に向 関の産業全体が脱炭素に向 関定される。それを根底か ら支えるのが、環境省がか ら支えるのが、環境省がか の一極集中が大きく変容し でいく中で、改めて「地域 循環共生圏」の確立だ。 されている。時代の要請に されている。時代の要請に されている。時代の要請に されている。の理念が注目 されている。時代の要請に うかのコロナ禍の下、都市 の一極集中が大きく変容し でいく中で、改めて「地域

◇ゲスト

環境事務次官

中井 徳太郎氏

なかい とくたろう

昭和37年生まれ、東京都出身。東京大学法学部卒業。昭和60年大蔵省入省、平成22年財務省主計局主計官、23年環境省総合環境政策局総務課長、24年大臣官房会計課長、25年大臣官房秘書課長、26年内閣官房内閣審議官兼環境省大臣官房審議官、27年環境省大臣官房審議官、28年大臣官房廃棄物・リサイクル対策部長、29年総合環境政策統括官(併)環境調査研修所長、令和2年7月より現職。

ました。

として先んじて、気候危機宣言の

を発し

れを受けてその後の白書発表時、環境省

府の正式文書において明記しました。

さに、危機、と言える」との表現を、

然災害が多発する現在の気象状況は、

明言・気候危機、を

森信 2020年秋、菅政権が所信表 出実質ゼロを目指すという、新政権らし 出実質ゼロを目指すという、新政権らしにより環境省では今後、目標達成へ向けにより環境省では今後、目標達成へ向けにより環境省では今後、目標達成へ向けれます。

中井 今回2050年カーボンニュー

トラル、すなわち脱炭素社会の実現を目 指すという目標を掲げた背景には、激甚 な気候災害が年々深刻になっているとい う現状があります。巨大なハリケーン、 豪雨災害、森林火災、干ばつなどが頻発 していることから、今や国際社会は従来 の地球温暖化、あるいは気候変動といっ た表現を超えて、*気候危機*であると た表現を超えて、*気候危機*であると し日本政府も20年6月12日に閣議決定し し日本政府も20年6月2日に閣議決定し

拡大、 しょう。 省もその真っただ中にあると言えるで 際的な大きな流れにおいてまさしく環境 サステナブルに変えていく、そういう国 目標)が掲げられており、社会の構造を また同年にはSDGs える努力をするというパリ協定があり、 に比べて2℃より低く保ち1・5℃に抑 た、世界の平均気温上昇を産業革命以前 候変動に関しては2015年に結ばれ について認識を示した形となります。 中、環境省は早い段階から問題の深刻さ く大きなグローバルリスクにさらされる 森信 および気候危機というとてつもな 菅政権発足前、ですね。 はい、新型コロナウイルス感染 (持続可能な開発

學

政

ま

害が毎年のように起きていますね。 森信 確かに、日本でも大規模自然災

中井 現状を人体および健康状態に例 中井 現状を人体および健康状態に例

経済に深刻な危機が訪れる、これこそが リー)を超えて回復力を失うと、 定の限界値(プラネタリー・バウンダ 機に陥るように、 れませんが、地球はそうはいきません。 す。人間ならば週末、休肝日を設ければ 臓に負担をかけるかの如く石油を汲んで して考えると、言わば肺の機能にあたる 続けてきました。地球を一つの生命体と 吸収し酸素を生み出す熱帯雨林を伐採し せる一方、都市化の文脈の中でCO2を 人間が肝硬変を起こせばやがて生命の危 またリセットされる復元力があるかもし 森林を侵食する一方、毎日酒を飲んで肝 産・大量消費・大量廃棄の社会を現出さ は廃棄物を生み出し続けている状態で 石燃料を地下から汲み上げ続け、大量生 産業革命以降250年ものあいだ、化 地球が惑星としての一 社会・

> 識です。 SDGsが求められるそもそもの基本認

生活習慣病そのものであると。 森信 つまり現在の地球は、成人病

中井 一過性のケガなら回復も見込めるでしょうが、地球はもはや慢性病の様相を呈しており、根本的な改善に差し迫られている状態です。カーボンニュートられている状態です。カーボンニュートられている状態です。カーボンニュートなさで温室効果ガスの排出量を抑えるとなさ改善策そのものを指しているわけでな改善策そのものを指しているわけです。

しかし慢性的な生活習慣病の難しいところは、病気の症状がすぐには消えない気ですから、気候変動においても長期的気ですから、気候変動においても長期的気ですから、気候変動においても長期的な視点に立って何らかの適応策を取ることが必要です。

森信 例えば、どのようなことでしょ

まな体質改善策を講じて、

あと30年で

カーボンニュートラルの状態に持ってい

ました。過去約8万年なかったことが数

百年足らずで起きているのです。さまざ

300ppmから400ppmに上昇し

に比べ1℃温暖化が進み、CO²濃度が

ければなりません。現代は産業革命段階

一方で、根本治療も同時に取り組まな

復旧を念頭に計画する、等々です。

りならば防災はもちろん被災した場合の

よう品種や作柄を変えていく、都市づく中井 農業ならば温暖化に適応できる

もりのぶ しげき

法学博士。昭和48年京都大学法学部卒業 後大蔵省入省、主税局総務課長、大阪大学 教授、東京大学客員教授、東京税関長、平成16年プリンストン大学で教鞭をとり、17 年財務省財務総合政策研究所長、18年9月から中央大学法科大学院教授。東京財団政 策研究所研究主幹。著書に、『日本が生まれ 変わる税制改革』(中公新書)、『日本の税制』 (PHP新書)、『抜本的税制改革と消費税』(大蔵財務協会)、『給付つき税額控除日本型 児童税額控除の提言』(中央経済社)等。日本ペンクラブ会員。

で食い止められるのでは、と推定されて

ければ、

何とかあと0・5℃上昇くらい

います。

らく海面上昇などの大変な事態になるの 昇した状態で気候危機の状態になってい 模を擁しフル装備の産業が揃っている国 抑制目標を掲げるのも比較的容易です まれるかもしれない、その希望に向けて プラス0・5℃の範囲で何とか踏みとど が、これから30年人類が頑張れば、あと リ協定の時は努力目標と言われました までに抑制しようという考え方です。パ でそれは受忍できない、せめて1・5℃ るのですから、あと1℃上昇したらおそ ています。というのも小国の場合は排出 世界は努力している、というわけです。 るものだろうか、 その中で日本の対応は非常に注目され 本当にあと30年間で目標を達成でき 日本のように1億人超という人口規 現在、産業革命時に比べ1℃上 ٤ 日本の産業界は基

本的にまじめなメンタリティがあるため、目標として掲げた以上、実現への勢見て取れました。そこへ小泉大臣が大き見て取れました。そこへ小泉大臣が大きは目標を打ち出したことで、実現へ最大いが増したと言えるでしょう。

森信 確かに、世界から見ると日本は

中井 やはり石炭火力推進が後進的イヤージを伴うようですね。そもそも太陽メージを伴うようですね。そもそも太陽をリードする技術を有していたのに、いつの間にか海外勢が市場を占めている、という残念な状況ですし。ですので、もという残念な状況ですし。ですので、もくいう残念な状況ですし。ですので、もされたいと考えています。

先行的事例の脱炭素ドミノ〟の

森信 具体的な政策としてはどのよう

う。 ン創出の発想自体は従来から経済産業省 明が為されました。ただ、イノベーショ めには、新たな技術イノベーションが必 社会・経済の仕組みが質的に大きく転換 くという意欲の表れだと言えるでしょ で、所管産業すなわち供給サイドの視点 10年にわたって継続的に支援するとの表 なイノベーションに挑戦する企業を今後 の基金を創設し、蓄電池開発など野心的 ション戦略会議において、新たに2兆円 須です。昨年末の12月4日、統合イノベー していくことを意味しています。そのた 回の基金創設は、さらに本腰を入れてい から取り組んではきています。しかし今 中井 カーボンニュートラル実現は

ンを共有して、需要サイドすなわち生活地域社会となるのか、国民が将来ビジョしが変容していく、その結果どのような社会・経済の転換に伴い、地域や暮ら

環境事務次官 中井 徳太郎

霞が関の核心

ないか

者の目線から積極的に新しい社会を形成していく活動が望まれます。それは供給サイドからでは限界のある社会変化です。この点、菅総理も所信表明において「脱炭素社会の実現に向けて、国と地方で検討を行う新たな場を創設する」と明言しました。これについては、環境省が事務方となり、12月25日に第1回国・地方脱炭素実現会議が開催されました。引き続き、経済産業省中心の技術イノベーき続き、経済産業省中心の技術イノベーき続き、経済産業省中心の技術イノベーションの供給サイドの検討と合わせた形の運営していきたいと考えています。

森信 環境省はかねてから、「地域循環共生圏」の形成を掲げてきましたが、環共生圏」の形成を掲げてきましたが、マントの実現に資する取り組みであると?

定する予定です。すでに約200自治をましたが、今般大きくグレードアップを策し、官邸主導の構想となりました。昨年し、官邸主導の構想となりました。昨年のに地域版・脱炭素のロードマップを競技、まず第一回の会合を設け、この夏までに地域版・脱炭素のロードマップを競技を表表したが、今般大きくグレードアップを開発を表表したが、会社を表表したが、会社を表表していて、従来から自治体、金融の構想について、従来から自治体、金融の構想について、従来から自治体、金融の構想について、従来から自治体、金融の構想について、

の声が上がったと言えるでしょう。 と 1 日本各地の地域社会の方から脱炭素推進を実現すると表明しています。 つまり、 つまりでますると表明しています。 つまり、 かいかいちはやく、 かいかいがいちはやく、 かいかいがいかいがいちばやく、 からがいがったと言えるでしょう。

れば、 心とした地産地消の仕組みを構築でき に、 は、 たくさん作るべく、 この流れを、脱炭素ドミノ、と捉えてい 心近郊に広げていくのが望ましい、私は 間地域などを先行させ、その実績を徐 かけない、こういう好循環に転換できる ニュートラルを実現できて財政に負担を 出しの方が多くなって、かつ化石燃料主 マップ策定となります。 ます。まずはドミノの先頭に立つ地域を に温室効果ガスを排出する工場地など都 わけです。したがってまずは離島や中山 した。それを、再生可能エネルギーを中 体になるという悪循環が長年続いてきま 例えば離島など一次産業主体の地域で 地域内の収支がマイナスつまり持ち 他の地域から電力を買ってくるため あと30年先を待たずにカーボン そのためのロード

あり得ると思います。

森信 そうなると、地域住民の生活様

そこに地銀や信金などの地域金融がこれを支援するならば、地域内で一つの経われわれは、ESG地域金融、と呼び、われわれは、ESG地域金融、と呼び、地域金融の新たな活性化としても推進すせ、地域金融の新たな活性化としても推進すると、地域において新たな社会へ変わると、地域において新たな社会へ変わるもと、地域において新たな社会へ変わるるとありがたいですね。

域などは。森信でに実践している先行的な地

中井はい、何カ所か着目すべき取り



を活用 す。 す。 が 5 葉県 道 た 復 2 気 لح ネ 睦 n 組 1) 4 13 産出 発 周 等 ょ 0 が 0 旧 を 沢 7 0 2 0 駅 ま 辺 町 H 生 つ 1 房 工 1 か 供 事 は 睦 数 0 7 0 住 ょ す 総 ネ と 9 シ で B 給 例 かを 要し 沢町 大規 宅に たコ る天 は、 半 見る 周 1 年 地 7 つ \exists ル が 週 秋 7 ギ 1 辺 かも完全 域 島 7 あ 熱と 然 ク 住 0 間 模 0 道 シ 1 地 中 1 当該 宅 ま くら 停 台風 帯 Vi ス ジ ガ 域 部 n 口 0 0 電 ま 駅 切 電 は ス か ま 0

用

で

1) 8 長 " 期 K 大規模停電 化 7 VI た た

例

ば、 n 組 住 被 通 害を受け が 民 過 7 み 持続 は 後 が 可 を 大変喜 能 も道 各 日常生活を維 となり 可 地 能 ることなく、 0 域 駅 0 んだそうです。 に積 ます かつ強靱 0) 温 極 泉施 持 的に (**'きま** な地 設 工 つ ネ が < こう 使え 域 L ル 社会 つ ギ 7 たたため] た仕 台風 つ 11 17

か、 環 使 畜 型シ 知ら が多 また、 は 0 ミとし 産 途 てメ 肥 が が 木 一料として再利用するなど ス 盛 広 れ 材 タン テ 建 岡 ようですね N 7 が て処理し な北 は 築資材 山県真 4 n VI ガスを抽 ます。 が を見 1) 海道 地 形 ル成され 方自 庭市 せ 用 7 廃 + 7 13 Vi 勝では、 治 出 材を燃料とする は 加 た家 11 森林 つつ 体 L ま I. が 0 す。 1 畜 舞 あ 0 資 直 材 n 0 台となる さら す 糞 そ ŧ れ 地 0 など、 ずす。 まで 0 尿 活 域 循 残 を 用

ゴ

n

す 地 産 域 地 中 消 循 例えば 環 型 多数の 共 0 、生圏協定を結ん 社会形成 横 人口 浜 市 を など は 難 抱 は える し 0 VI 東 面 都 Vi る 北 が 市 12 地 あ で は 市 方 1) 地 町

製をラ

31

性化を支援しています。

「がることで再生可能エネルギーの市場活風力などのエネルギーを横浜市が買い上村と連携して、協定各自治体で産出した

森信 それは送電線など、新たにインフラを敷設しなくても可能なのですか。 中井 はい、現在の電力自由化の中で、 での送電網を使って再生可能エネルギー なが、現在の電力自由化の中で、 での送電網を使って再生可能なのですか。

分散型社会のデザイン

森信 再生可能エネルギーの需要が高まる一方、新型コロナウイルス感染拡大によって社会の在りようが大きく変化しによって社会の在りようが大きく変化したまでしょうか。 つまがます。この点の整合性をどう考えるべきでしょうか。
一極集中の持続は好ましくない、つまり
一を集中の持続は好ましくない、つまり
一を集中の持続は好ましくない。

た。分散化社会を形成するには、まさにた。分散化社会を形成するには、まさにたいって現在の分散を盤となります。したがって現在の分散社会への志向トレンドを上手くデザイン社会への志向トレンドを上手くデザイン社会への志向トレンドを上手くデザインは、われわれが、命の産業、と呼ぶ地産地消型社会の実現を、より現実味あるものにしていく必要があります。

森信 なるほど、都市生活者を始め多なのである。

ではないかと。

をどのようなタイミングで国民に発信す

森信 そうしたトータルでのイメージ

べきでしょうか。

中井 ご指摘の国民的理解に向けて小泉進次郎大臣は現在、不健康な状態に戻すためる現在の地球を健康な状態に戻すために、脱炭素社会、循環経済、分散型社会、に、脱炭素社会、循環経済、分散型社会、の三つの実現を目標に掲げています。特の三つの実現を目標に掲げています。特の三つの実現を目標に掲げています。特の三つの実現を目標に掲げています。特の三つの実現を目標に掲げています。特の三つの実現を目標に掲げています。特の一方でありながらヒューマンスケールをクトでありながらヒューマンスケールをクトでありながらヒューマンスケールをクトでありながらヒューマンスケールを存散することで、地方においてはコンパケーでありながらビューを展示する。

要だと思います。 人口集積を形成する、そういう発想が必政サービスの効率性を維持できるだけの

森信 中核市のような自治体がいくつもできるようなイメージでしょうか。 中井 エリアとしては大小あってもいいと思います。地域における人口集積といと思います。地域における人口集積というでしょうか。

中井 われわれとしてはやはり、「地域循環共生圏」のイメージを積極的に発信することが大切だと考えています。こ信することが大切だと考えています。この「地域循環共生圏」自体を一つの生物クラスターが生物を形作る細胞や臓器でクラスターが生物を形作る細胞や臓器でつくことで初めて、生物としてはやはり、「地中井 われわれとしてはやはり、「地中井 われわれとしてはやはり、「地

を捉えていくべきではないかと思います

命システム的観点から今後の経済、社会

なるという、まさに現在求められている地域再生にもつながるしコロナ対策にも、 森信 環境面での健全性はもちろん、

課題を、

一枚で解決している図ですね

中井 前述の通り「地域循環共生圏」の構想自体はコロナ禍以前からありましたが、コロナ拡大を経た現在、将来の姿を展望するとますます「地域循環共生圏」を構築するのが最善であり、極論すればほかに方策はないと言っても過言ではありません。



「地域循環型共生圏」は地域から日本へ、日本から世界へ発信できる人類共通の理念だと言えるで しょう。

森信 コロナ以前と以後とでは、国民ではないでしょうか。 確かにポスト・コロナでは「地域うね。確かにポスト・コロナでは「地域

中井 さらに言えば先ほどの先行事例 地域において、エネルギーだけでなくヒ にお示しすることが重要です。そのため 現在、地域において金融や技術、観光な での専門家が知見を生かして活躍できる との専門家が知見を生かして活躍できる よう、マッチングのプラットフォームを

森信 中井次官らしい、スケールの大きな構想ですね(笑)。しかし、大風呂きな構想ですね(笑)。しかし、大風呂助・共助しながら地域の独立性を維持し助・共助しながら地域の独立性を維持していく、それが21世紀あるべき環境と地でいく、それが21世紀あるべき環境と地域社会両立の姿ではないかと思います。

森信 環境という観点で捉えると、全 大禍においても、それを上手くプラスの ナ禍においても、それを上手くプラスの

中井 もともと求められていた社会の理想像が、コロナ禍によってより一層、だと思っています。これまで環境省ではだと思っています。これまで環境省ではでした。しかし「地域循環型共生圏」は地域から日本へ、日本から世界へ発信でもる人類共通の理念だと言えるでしょう。

もちろん、実現に向けては制度、経済、もちろん、実現に向けては制度、経済、いずの確立が不かせません。それには金融に対する価格シグナルとして、炭素税や呼応する価格シグナルとして、炭素税やいっている。

中井 徳太郎

8 3

33

性化を支援しています。
げることで再生可能エネルギーの市場活風力などのエネルギーを横浜市が買い上村と連携して、協定各自治体で産出した

森信 それは送電線など、新たにインフラを敷設しなくても可能なのですか。 中井 はい、現在の電力自由化の中で、 方ロックチェーンの技術を活用して、既 での送電網を使って再生可能なのですか。 を都市と地方でやり取りできる時代にな

分散型社会のデザイン

森信 再生可能エネルギーの需要が高まる一方、新型コロナウイルス感染拡大によって社会の在りようが大きく変化しによって社会の在りようが大きく変化したまでしょうか。 マきでしょうか。 中井 その点は中央環境審議会でも議論されています。いわゆる 3 密、回避論されています。いわゆる 3 密、回避論されています。いわゆる 3 密、回避の生活が一般化すると、いずれにしてもの生活が一般化すると、いずれにしてもの生活が一般化すると、いずれにしてもの生活が一般化すると、いずれにしてもいます。

た。分散化社会を形成するには、まさにた。分散化社会を形成するには、まさにたがの志向トレンドを上手くデザイン社会への志向トレンドを上手くデザイン社会への志向トレンドを上手くデザイン社会への志向トレンドを上手くデザイン地消型社会の実現を、より現実味あるも地消型社会の実現を、より現実味あるものにしていく必要があります。

森信 なるほど、都市生活者を始め多森信 なるほど、都市生活者を始め多

ではないかと。

中井 ご指摘の国民的理解に向けて小泉進次郎大臣は現在、不健康な状態に戻すためる現在の地球を健康な状態に戻すために、脱炭素社会、循環経済、分散型社会、に、脱炭素社会、循環経済、分散型社会、の三つの実現を目標に掲げています。特の三つの実現を目標に掲げています。特の二つかにも分散型社会のデザインがポイントになります。大都市から人が地方につトになります。大都市から人が地方につトでありながらヒューマンスケールをクトでありながらヒューマンスケールを存散することで、地方においてはコンパクトでありながらヒューマンスケールを存散する、人の数だけ揃えば中山間地まで分散してもいいというのではなく、行

要だと思います。 人口集積を形成する、そういう発想が必政サービスの効率性を維持できるだけの

森信 中核市のような自治体がいくつ もできるようなイメージでしょうか。 ・中井 エリアとしては大小あってもいいと思います。地域における人口集積といと思います。地域における人口集積といいのである。

中井(われわれとしてはやはり、「地べきでしょうか。

をどのようなタイミングで国民に発信す

森信 そうしたトータルでのイメージ

中井 われわれとしてはやはり、「地域循環共生圏」のイメージを積極的に発信することが大切だと考えています。この「地域循環共生圏」自体を一つの生物の「地域循環共生圏」自体を一つの生物の「地域循環共生圏」自体を一つの生物の「地域循環共生圏」のイメージを積極的に発送してとで初めて、生物としてはやはり、「地中井 われわれとしてはやはり、「地中井 われわれとしてはやはり、「地

分散化社会への方向性が明確になりまし

を捉えていくべきではないかと思います。

命システム的観点から今後の経済、社会

霞が関の核心環境事務次官

課題を、一枚で解決している図ですね。 なるという、まさに現在求められている地域再生にもつながるしコロナ対策にも

中井前述の通り「地域循環共生圏」の構想自体はコロナ禍以前からありましたが、コロナ拡大を経た現在、将来の姿を展望するとますます「地域循環共生圏」を構築するのが最善であり、極論すればほかに方策はないと言っても過言ではありません。



「地域循環型共生圏」は地域から日本へ、日本から世界へ発信できる人類共通の理念だと言えるで しょう。

森信 コロナ以前と以後とでは、国民からの理解度に大きな違いがあるでしょうね。確かにポスト・コロナでは「地域うね。確かにポスト・コロナでは「地域

よう、 現在、 **!** 早く確立して成功事例として国民の皆様 どの専門家が知見を生かして活躍できる 地域において、エネルギーだけでなくヒ つくっているところです。 にお示しすることが重要です。 中井 モノ・カネの独立的循環スタイルを 地域において金融や技術、 マッチングのプラットフォ さらに言えば先ほどの先行事例 そのため 観光な ームを

森信 中井次官らしい、スケールの大きな構想ですね(笑)。しかし、大風呂 かれても、経済、エネルギーを含めて自 かれても、経済、エネルギーを含めて自 かれても、経済、エネルギーを含めて自 でいく、それが21世紀あるべき環境と地 でいく、それが21世紀あるべき環境と地 は社会両立の姿ではないかと思います。

森信 環境という観点で捉えると、全 本信 環境という観点で捉えると、全

う。 理想像が、 やはりそれでは狭小な感をぬぐえません きる人類共通の理念だと言えるでしょ 地域から日本へ、 環社会づくりに取り組んできましたが、 だと思っています。これまで環境省では 顕在化しました。 でした。 中井 しかし「地域循環型共生圏」は もともと求められていた社会の コロナ禍によってより一層 日本から世界へ発信 今はまさしく大転換期

もちろん、実現に向けては制度、経済、もちろん、実現に向けては制度、経済、いかの確立が不可欠です。それには金融に対する価格シグナルとして、炭素税や呼応する価格シグナルとして、炭素税やいったが、実現に向けては制度、経済、

中井 徳太郎

等 为

の確立が不可欠

森信 そうですか。2050年段階での温室効果ガス排出ゼロが達成を図るには、新技術の開発に頼るだけでは無理で、は、新技術の開発に頼るだけでは無理で、いずれは次官がご指摘されたカーボンプライシングの仕組みによって、補完せざるをえなくなるのではないかと、私も思います。早急に議論を始めるべきですね。います。早急に議論を始めるべきですね。います。早急に議論を始めるべきですね。いくわけですが、究極的にはカーボンプライシングを構成する各種仕組みが一つライシングを構成する各種仕組みが一つつ自立したビジネスとして確立される

ビジネスとして確立を図る上でポイントとなるのは、おカネの流れの方向感で
う高い、という認識を社会や事業者に貫
がさせるために、政府からまとまった発
徹させるために、政府からまとまった発
信をすべきとの声が各方面から挙がって

必要があります。

環境省としてはカーボンプライシング

ると拒否反応が先行しがちですので、

1

9

の必要性を従前から訴求してきましたが、2050年カーボンニュートラルとが、2050年カーボンプライシングに可来したと捉えています。小泉大臣もこの点、本年よりカーボンプライシングにの点、本年よりカーボンにまか。 審議会を再開すると明言しています。 を選出しています。 の必要性を従前から訴求してきました

抵抗感が強いようですが。めの増税、といったイメージが先行し、イシングというと、新たな税収を得るたイシングというとであれる税収を得るための増税がある。

す。

中井 私は環境増進に基づく経済成長のドライバーとして活用されるですが、た。新しい成長、と呼んでいるのですが、カーボンプライシングはまさに。新しいは、のドライバーとして活用されるべきツールだと認識しています。炭素税やきツールだと認識しています。炭素税やも自由にデザインできればカーボンプラも自由にデザインできればカーボンプラも自由にデザインできればカーボンプラも自由にデザインできればカーボンプラも自由にデザインできればカーボンプラも自由にデザインできればカーを表現のですが、

ます。の認識を改めてもらうところから始まり

森信 炭素を出すものは高くなり、抑熱信 炭素を出すものは高くなり、抑物すると安くなるという、要は発想の転続的に丁寧な説明が必要ですね。 中井 そうなんです。必ずしも増税になるとは限りません。炭素を出さないも なるとは限りません。炭素を出さないも がった ですが、この点についても継続的に丁寧な説明が必要ですね。

これまでの登場者

2018 年11月号 岡本 薫明 財務事務次官

2019年 3月号 末松 広行 農林水産事務次官

5月号 森 昌文 国土交通事務次官 7月号 誠 文部科学事務次官 藤原 9月号 杉本 和行 公正取引委員会委員長 鈴木 11月号 俊彦 厚生労働事務次官

2020年 3月号 安藤 久佳 経済産業事務次官 5月号 遠藤 俊英 金融庁長官 7月号 其田 真理 個人情報保護委員会事務局長

総務事務次官

黒田武一郎

34

11月号

森信 私は、環境税は財源調達のため 森信 私は、環境税は財源調達のため かいい、その行動変容が促された暁には、
変極的には炭素を出す事業からの税収が
ででなるわけですから。
その間の税収が
ででになるわけですから。
その間の税収が
ででになるわけですから。
その間の税収が
ででになるわけですから。
その間の税収が
ででになるわけですから。
その間の税収が
ででになるわけですから。
その間の税収が
ででは、
では、
ででは、
では、
では、
では、
ででは、
では、
では、

中井 この問題で一つのポイントになるのが、EUにおける国境炭素税(環境るのが、EUにおける国境炭素税(環境をかける税制)だと言えるでしょう。 に変傷を掲げていますので、今後、この国境炭素税の議論が沸騰する可能性は大いにあります。そのとき日本の環境対策が緩いますでは、EUの環境ビジネスにあり込まれる恐れも考えられます。

思われます。 森信 この構想自体、国内産業を保護

中井 今後は、国際的な観点からいろの拒否感が先立つばかりでは議論にならの拒否感が先立つばかりでは議論になりません。

森信 ぜひ検討を進めてもらいたいで 森信 ぜひ検討を進めてもらいたいで すね、日本から世界への国際的メッセー ジとして。私も、今やカーボンプライシングは世界の常識となっていますし、それ無くしては日本が環境大国であると発 に としても国際社会から信用されません。 中井 2050年カーボンニュートラル達成を日本が掲げたならば、その本気でを世界に発信するためにも、カーボンフライシングは必須の要件になります

どのような過ごし方を?した。ところで次官は、お休みの時には、な情が、税の議論は非常に参考になりま

え、人体組成の70%を占める水に積極的中井 私自身を一つの生命体として捉

まで、 に親しんでいます。例えば季節を問わずに親しんでいます。例えば季節を問わず

た。 森信 本日はありがとうございまし

インタビューを終えて

音像である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 でが関からはみ出す行動力 を構想力は、小泉大臣の参謀としてぴっ と構想力は、小泉大臣の参謀としてぴっ でのためにもカーボンプライシングの議 でのためにもカーボンプライシングの議 でのためにもカーボンプライシングの議

中井 徳太郎

環境事務次官

霞が関の核心